

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会 構想部会ニュース

2022年1月発行

このニュースは、東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会・構想部会の内容について、地域の皆様にご報告するとともに、活動状況について共有していただくために発行しております。

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想(以下、まちづくり構想)とは

東淀川区では事業者・行政等の支援・協働のもと、地域が主体となり、地域の課題等について共有した上で、10年後・20年後の「暮らし方」や「まちの姿」を描き、まちづくりの基本理念・目標等を定めるため、平成28年1月に地域・事業者・行政で構成される東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会を設立しました。

議論を積み重ね、平成30年3月に「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想」が策定されました。まちづくりの基本理念は以下の通りです。(裏面にまちづくり構想全体を掲載しております。)

まちづくりの基本理念(まちの将来像)「みんなで つながる ふだん暮らしのまち」

まちづくり構想策定までの流れ

H27年度

・協議会の設立



協議会参画地域

H28年度

・まちづくり構想素案の策定



構想部会の様子

H29年度

・まちづくり構想の策定



広報ひがしよどがわでの紹介

まちづくり構想策定からの流れ

まちづくり構想を実現するため個別取組みの行動計画である「アクションプラン」の策定に向けて、構想部会での議論や地域内でのワークショップ、他地域の活動の見学などを行い検討を進めています。

H30年度

R元年度

R2年度

R3年度



地域内でのワークショップ



他地域への見学



構想部会の様子



構想部会の様子

平成30年3月に策定された「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想」を掲載いたします。

まちづくり構想を実現するための分野別の個別取組みの行動計画である「アクションプラン」の策定に向けて、各地域で検討を進めています。

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想

アクションプラン

基本理念 (まちの将来像)

「みんなで
つながる
ふだん暮らしのまち」

基本目標 (まちづくりの基本方針)

地域のつながりによる安全・安心づくり

地域住民の高齢化、単身世帯の増加及び子育て世帯の孤立など、だれもが孤立しない地域をめざします。

そのため、見守り、見守られる関係づくりや、地域での居場所づくりなど、子どもから高齢者まで、あらゆる人が地域の中の豊かなつながりのもと、安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

だれもが住みやすく楽しく暮らせるまち

「みんなで つながる ふだん暮らしのまち」を実現するには、あらゆる差別を解消し、年齢や性別、価値観、障がいの有無などを越えた「人々とのバリアフリー」をめざす必要があります。

そのため、人と人をつなぐ垣根を越えた関係づくりや、ハード・ソフト面のバリアフリー、若い世代や女性なども地域活動に参加しやすい環境づくり、多様な世帯が住み続けられる住宅・住環境の充実などに取り組みます。

関西各地につながる便利・快適なまち

西部地域は、関西各地につながる交通結節点となることで、全国また世界各地から人が訪れる場所になります。その中でも、住民がこれまで通り暮らし続けられる地域を前提とし、その上で、大阪の玄関口として、まちに人を呼び込み、出会いや交流などの相乗効果を生み出すまちをめざします。

そのため、これまでの歴史や文化資源、にぎわいある商店街などの人的資源などを活かしながら、地域に「行ってみたい」と感じられる魅力づくりや「住みたい」と感じられる、便利で快適な住環境づくりに取り組みます。

実現したい暮らし・まち (まちづくりのテーマ)

第三の居場所づくり・孤独を作らない

家庭や職場、学校以外に「第三の居場所」となる拠点づくりを通して高齢者から子どもまで地域のつながりを生み出し、孤立することがない仕組みづくりに取組めます。

子育てがしやすい・子どもの孤食をなくす

働きながら子育てがしやすく、子どもがのびのびと育つ環境づくりなどを通して、子どもが一人で食事することがない地域をめざした、取組みを進めます。

高齢者が安心して暮らせる

高齢単身者の増加が見込まれる中、高齢者が移動や買い物などに不自由することなく、安心して暮らし続けられる地域をめざした、取組みを進めます。

誰にもやさしいユニバーサルデザイン

新たに整備される施設のハード面のバリアフリーだけでなく、手助けを必要とする方への声かけや心遣いなどソフト面でのバリアフリーにも取組めます。

楽しい地域活動ができる

地域活動の担い手不足の解消に向けて、新たな世代が気軽に参加できる組織づくりと、新たな地域活動が継続する仕組みづくりに取組めます。

人と人をつなぐ垣根を越えた関係

だれもが地域の一員として受け入れられ、その人が、その人らしく、ありのままに暮らせる地域をめざし、人権を尊重するまちづくりに取組めます。

多様な世帯にとって住みよい住環境

多様な世帯が住む活気ある地域をめざし、ファミリー世帯や高齢世帯、学生などをはじめ、様々な世帯が住みやすい住宅の確保と魅力ある住環境づくりに取組めます。

世界各地から人が集まり交流が生まれるまち

新大阪駅東口、淡路駅など大阪から世界に繋がる玄関口にふさわしいまちづくりとともに地域住民が住み続けられるまちとして、バランスを図りながら取組めます。

歴史や文化を尊重するまち

これまでの地域の成り立ちや歴史資源を大切にするとともに訪れた人が懐かしいと感じられる雰囲気大切に、ふだん暮らしのまちをめざした取組みを進めます。

テーマ毎の活動方針

【まち・施設の整備】

- ・様々な災害に対して強いまち
- ・保育所、幼稚園、子育て施設の充実
- ・多様な世帯構成に対応した住宅の確保
- ・駅前の交通結節点の強化、駅前の移動手段
- ・住宅地と生活施設をつなぐ交通手段
- ・大型店舗、コンビニなどの商業施設
- ・駅ナカ施設の充実

【空間づくり・場づくり】

- ・明るい駅前空間（交番、街灯、建物）
- ・様々な人が集まれる地域の居場所づくり
- ・だれもが安全に利用できる駅前歩行空間
- ・お年寄りがちょっと休憩できる空間
- ・大人の目が届く子どもの遊び場
- ・子どもの第3の場所（学校・家庭以外）
- ・歩きたくなるまち（商店主との交流など）

【地域活動】

- ・障がい者にやさしいソフト面の取り組み
- ・若い世代が活躍できる「楽しい」地域活動
- ・スポーツや趣味など垣根を越える地域活動
- ・地域の行事・文化の継承
- ・子どもの見守り活動
- ・商店街のコミュニティビジネスへの支援

【情報発信】

- ・情報発信・情報化に対応
- ・高齢者への情報伝達
- ・情報発信・にぎわいづくりに対応
- ・歴史文化施設へのスポット、情報発信

【環境づくり・組織づくり】

- ・地域で互いに見守りができる関係づくり
- ・社会的な孤立を防ぐ仕組みづくり
- ・地域内で住み替えができる住環境づくり
- ・若い世代が参加しやすい環境づくり
- ・地域活動に参加しやすい環境づくり
- ・地域に入りやすい環境づくり
- ・女性も決められ、男性も動ける組織づくり
- ・「つなぎ役」を増やす環境づくり
- ・商店街の結束、後継者育成